政務活動報告書（個表）

管理番号	10－1	作成　１０月３１日
会派(議員)名	立憲新風会　木岡　崇	
実施年月日	2023年10月2日	
政務活動の具体的内容	項　目	①調査研究費　②研修費　③広報費　④広聴費 ⑤要請・陳情活動費　⑥会議費　⑦資料作成費　⑧資料購入費 ⑨人件費　⑩事務所費　⑪事務費
	内　容	市民への市政報告のための市政レポート45号のポスティング代金として 領収書別添 ※内容を詳細に記載し、報告書がある場合は添付すること
支出の内容	金　額	２０５，３０６円　（消費税込）
	内　訳	領収書別添 市政レポート４５号のポスティング代金として ４１，４７６枚×@４．５円＝１８６，６４２円（税抜） １８６，６４２円×１．１＝２０５，３０６円（税込） ※添付する領収書等と同一番号を付記し対応関係を明らかにすること
備　考		

※領収書等は領収書等貼付用紙（別様）に貼付し、この報告書に添付すること

領収書等貼付用紙

管理番号 ※	10－1

領収書等は重ならないように貼付すること

領　収　証　　木岡 たかし　様　No. 23-014

☆　¥ 205,306－

但 市政レポート45号ポスティング費用として（41,476枚×単価4.5円＝186,642）

23 年 10 月 2 日 上記正に領収いたしました

内訳		
税率	金額(税抜・税込)	186,642
10 %	消費税額等	18,664
税率	金額(税抜・税込)	
%	消費税額等	

株式会社ウコーポー
埼玉県川口市川口2-15-20
代表取締役 矢崎良介

[redacted]

[redacted]

※管理番号は政務活動報告書（個表）と同一とし、複数にわたるときは枝番を付すること

[redacted]

10-1

[redacted]

木岡たかし 様

株式会社クローバー
〒332-0015
埼玉県川口市川口2-15-20
適格事業者登録番号 T3011201020493
TEL:048-291-8214 / FAX:048-291-8217
担当 [redacted]

御請求日　2023年09月30日
御支払日　2023年10月31日

【2023年09月】御請求書

このたびは御依頼いただきまして誠にありがとうございます。
下記のとおり御請求申し上げます。

種別	商品名	内容	数量	単価	金額
ポスティング	木岡たかし 政策レポート	A3二つ折り 8/23～9/6	41,476	4.50	186,642

小計	186,642
消費税(10%)	18,664
合計	¥205,306

備考

お振込み先口座

三井住友銀行 高円寺支店(089)
[redacted]
株式会社クローバー

※お振込み手数料は貴社にて御負担くださいますよう何卒お願い申し上げます。

れいわ 新選組
川口市議会議員 47 歳 10－1
◆発行責任者 木岡たかし〔連絡先〕[redacted]
TEL:[redacted] Mail:[redacted]

木岡 たかしの熱い想い

市政レポート Vol.45 [2023.8]

◆税金の使い道 徹底的に監視します！
◆子育てにお金のかからない街にします！
◆高齢者が安心して生活できる街を実現します！

社会の不公正に沈黙しない！ 川口市の闇に切り込む！！

―長いものに巻かれず、忖度しない、モノ言う議員が必要です！―

美術館建設費が明らかに！ その額 42 億円！

これまで川口市は、市立美術館の建設費について、具体的な数字を明らかにしてきませんでした。しかし、6 月市議会でのわたし木岡の質問で初めて明らかになりました。その額なんと 42 億円!!!

わたし木岡は、これからの川口市を考えた時に、多額の税金を投入して市立美術館を建設する必要が本当にあるのかと、何度も市議会で訴えてきました。しかし、これまで建設費すらまともに示さないまま、建設に向けた行政施策が着々と進められてきました。改めて、市立美術館建設計画の問題点についてご報告します。

市立美術館建設の 5 つの問題点

問題点その 1 【ふくれあがる建設費】

市立美術館計画が出た当初は、再開発手法を利用して 20 億円程度で建設するとの話がありました。しかし、明らかになった美術館建設計画の実施設計段階での建設費が 42 億円と示されました。しかもこの 42 億円ですら、今後さらに増額となる危険性がある数字です。

問題点その 2 【美術館の維持・管理費は不明のまま】

さらに、建設後のランニングコストはいまだに不明だということです。

美術館と言うのは、作って終わりではありません。美術品の展示・維持・管理、イベント企画、集客など、当然に多額のランニングコストが必要になります。

現在、市立美術館計画の基本設計が完成し、床面積や展示エリア、配置する人員（10 人）まで決まっています。ですから、想定のランニングコストの試算は出せるにもかかわらず、市側は、出せるのに出したくないから、ランニングコストは分からないと答弁しています。

市立美術館計画の詳細を市民に知られないように知られないようにするこの川口市の姿勢が問題です。

[2 ページにつづく]

木岡たかし [profile]

公式ホームページ 木岡 たかし [redacted]

[redacted] 2007 年（平成 19 年）川口市議会議員選挙で初当選。2023 年再選。現在 5 期目。

川口市議会「立憲民主党・新風会」所属
【所属委員会】●総務常任委員会 ●議会運営委員会 ●都市基盤整備・危機管理対策特別委員会 [redacted]

問題点その３【競争原理の働かない事実上の随意契約について】

実施設計時にＥＣＩ方式（工事や設計業務等を発注する際に採用される発注方式の一つ）を初めて採用するのですが、このＥＣＩ方式とは、実際の施工時の手間が省けるなどのメリットがある一方で、設計業者と施工業者が手を握ってしまえば、建築コストが言い値になって高額になる危険性があることが最大のデメリットとなります。競争原理の働かない事実上の随意契約となってしまうということです。

市側は、競争原理の働かない随意契約のデメリットをクリアして適正価格での契約を実現するためとして、コンストラクションマネジメントを採用すると説明しますが、その費用にさらに5,500万円もかかるのです。

そもそも適正価格での工事契約が、チェックしないと危ぶまれるようなECI方式を採用すること自体が問題です。ＥＣＩ方式では、建築事業者の選定過程を不透明化してしまい不正の余地を広げることとなります。

問題点その４【心配な建築工法】

美術館建設基本設計によれば、市立美術館はリリアの西側にある川口駅西口駐車場をそのままにして、その上に美術館を建設するとの方針ですが、非常に心配です。

通常、建築するときには、上に乗る建物の重さを考えて基礎構造を決めます。費用をかけて必要以上の基礎構造とすることは基本的にありません。西口駐車場の基礎だって、現在の西口駐車場の重さを考慮して基礎構造が決められているはずです。その基礎の補強もないまま、いくら駐車場の上の土をどけると言っても、4,300㎡もの広さの鉄骨造の美術館を建設して大丈夫なのでしょうか。そこで市側には、どける土の重量と、新たに建築する美術館の重量はいくらを見込んでいるのか尋ねました。

市側の答弁・・・「川口駅西口地下公共駐車場の構造計算書における設計荷重として、土盛り荷重約１万5,000トンが見込まれており、新たに建設する美術館は、この荷重を上回らない建物を予定している」とのこと。引き続きのチェックが必要です。

問題点その５【市民からの意見聴取を拒否】

市立美術館建設の是非を市民に問う時、単純に「美術館があったら良いと思いますか」と聞いたら、多くの方が、「美術館があった方がよい」と回答すると思います。私もそうです。

しかし、建築費やその後の管理・運営コストを考慮した時の市民の意見は、前提条件が変わる訳ですから、市民意識も当然に変わるのではと考えております。であるならば、建築費などのイニシャルコストのみならず、完成後の維持・管理のためのランニングコストも示した上で、美術館建設そのものの是非も含めて市民の意見聴取を行うべきだと考えます。

ですから質疑において、市立美術館にかかわるすべての費用を公開した上で、市民からの意見聴取をすべきと求めました。

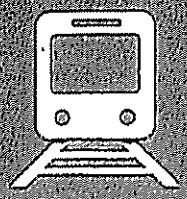
しかし市側の答弁は、「2度にわたってパブリックコメントを実施し、市民の皆様からご意見を伺いましたことから、改めて意見聴取の機会を設ける予定はございません」と、これ以上は市民から意見聴取しないとの回答でした。

とんでもない答弁です。2度パブリックコメントをしたと言いますが、その時点では建設費も維持・管理費もいっさい明らかにしていません。そうしたタイミングで、たった2回パブリックコメントをしただけで、もう市民のご意見は聞きませんと言う答弁です。

そんな川口市の姿勢が問題なのです。建設費や維持管理費が明らかになった時点で市民の意見を聞くように、引き続き市側に求めていきます。

建設予定候補地近くの
川口駅西口

JR東日本が営業活動で使う「線路」や「ホーム」の建設費まで300～400億円全額を川口市民の税金投入でいいのか!?



川口駅への中距離電車停車に伴う駅舎等の改修費用の全額を、川口市民の貴重な税金300億円～400億円つぎ込むことの是非について、ずっと追及しています。

現在、昨年（2022年）11月に川口市とＪＲ東日本で結んだ「東北本線川口駅ホーム増設等に係る駅改良の調査の実施に関する協定書」に基づいて、ホーム増設等の計画策定、それに基づく事業費の算定等の調査をＪＲ東日本が実施しております。

この調査によって2023年度中に、工事費用の概算が示されることとなります。

【誰が工事費用を負担するのか?】

そこで問題となるのは、その工事費用をだれが負担するかです。新たに建設する「駅舎」や「ホーム」や「線路」を使って営業活動をするのはＪＲ東日本ですから、原則的に費用を負担するのはＪＲ東日本であるべきです。

しかし川口市は、駅舎のみならずホームも線路も全部、川口市民が税金で負担する方針です。それほど多額の予算があるのなら、介護保険料や国民健康保険税の軽減策など物価高の中の市民生活を支える予算として使うべきです。

予算の優先順位を変えれば実現できます！

例えば、

- その１

  予算の優先順位を変えれば、「みんななかまバス」のルートの細分化と増便が実現できます。また、デマンド型交通（利用者の予約に応じて運行経路や運航スケジュールを決めるバスとタクシーの良いとこ取りの公共交通）の実現も可能です。実現すれば、高齢者やベビーカーを押した方、妊婦さんなど移動に支障がある方、誰でも安心して移動ができる市内交通に一歩前進します。

- その２

  予算の優先順位を変えれば、保育料の軽減を拡充できます。

- その３

  予算の優先順位を変えれば、学校給食費、教材費の無償化による保護者負担軽減ができます。

- その４

  予算の優先順位を変えれば、介護保険料の負担軽減ができます。

- その５

  予算の優先順位を変えれば、国民健康保険税の負担軽減策の拡充ができます。

川口駅周辺の再開発事業は ごく一部の権利者が得をするだけ！

再開発事業とは、不健全な都市機能の改善事業というのが大義名分であります。しかし現実の駅前再開発事業は、駅前の一等地に不動産を持つ比較的裕福な方のために市民の貴重な税金が投入されるだけの結果に往々にしてなっています。

【84人の権利者に約100億円の税金が】

現に、ほぼ完成した川口駅前の栄町3丁目銀座地区の再開発事業では、約35億円も川口市民の貴重な税金が投入されていますが、当該再開発の権利者は個人・法人あわせてたったの84人です。60万人いる市民の中のたった84人の権利者にかかわる事業に、国・県からの税金投入を合わせると約100億円の税金がつぎ込まれました。

【川口駅前に土地を持つ権利者に税金で支援する必要性はあるのか】

そもそも川口駅前は川口市の中では不動産的価値が一番ある地域です。その川口駅前に不動産を持っている権利者に、再開発の名のもとに税金で支援する必要があるのでしょうか。それこそ市場の採算性に任せて民間主導の開発行為を政策的に促す方法に、市の方針を変えるべきです。

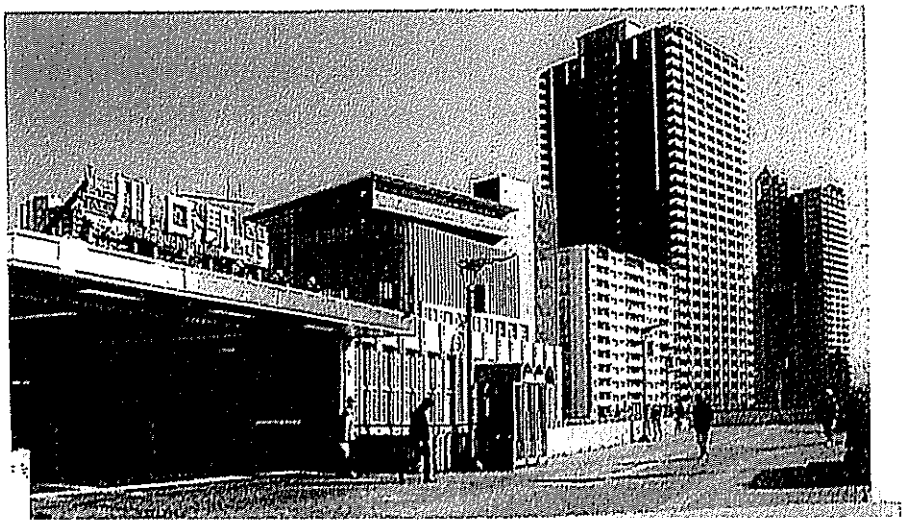
【駅前再開発事業には多額の税金投入をする一方で、遅れたままの市民生活の基盤整備】

◎予算不足で遅々として進まない区画整理
◎市民が日々使う生活道路の「とまれ」の等の道路標識や白線が消えたまま
◎終わっていない下水道整備（市内には汲み取り便所が約900軒）
◎改善がまだ終わっていない危険な通学路も多数
◎高齢者や足の不自由な方にとって非常に危険なデコボコのままの歩道も多数
◎利便性の低いコミュニティバス（みんななかまバス）・進まぬ買い物弱者支援

駅前再開発ではなく、市民生活の基盤整備こそ優先すべき！

【税金投入を前提とした古い再開発事業は中止すべき】

現在、川口市が進めようとしている従来型の税金投入を前提とした再開発はすべて中止すべきです。そんなお金があるのなら、上記の市民生活の基盤整備にこそ予算を使うべきです。



政務活動報告書（個表）

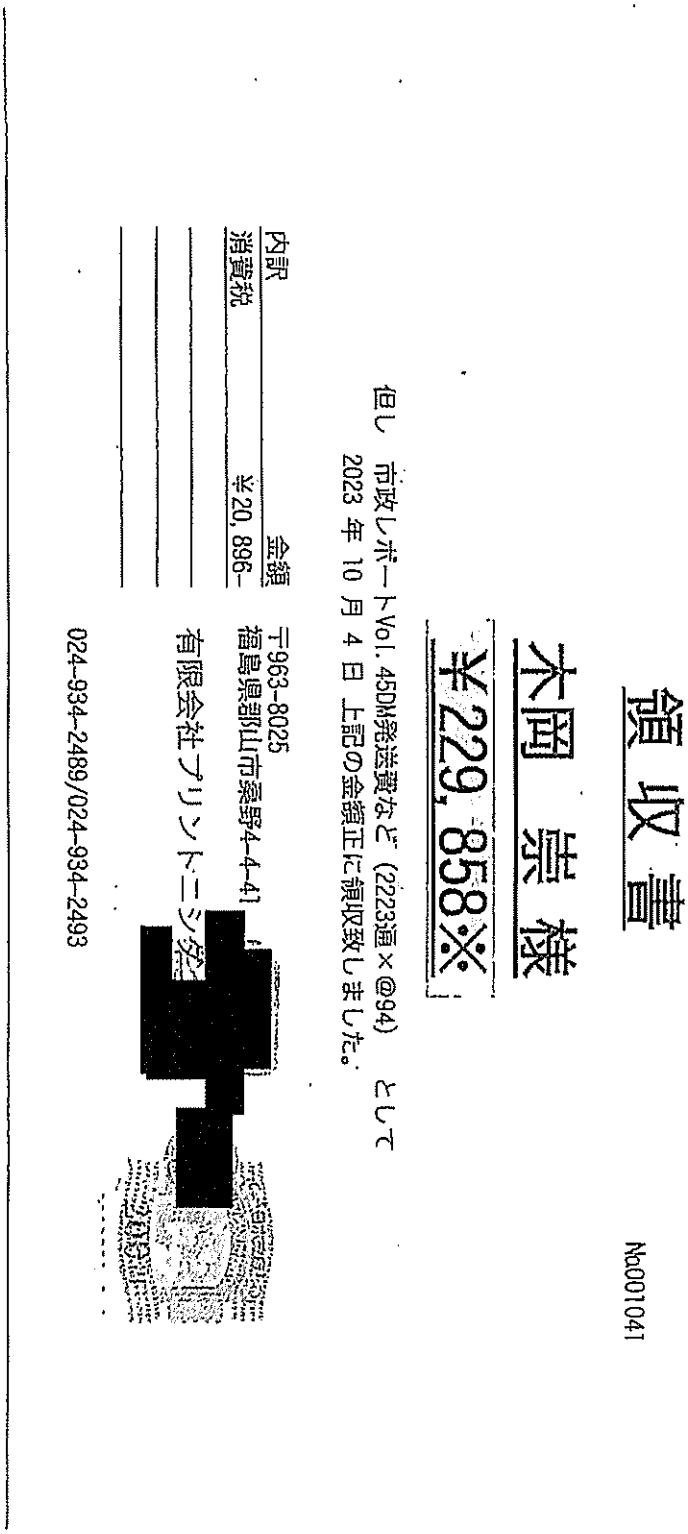
管理番号	10－2	作成　10月31日
会派(議員)名	立憲新風会　木岡　崇	
実施年月日	2023年10月4日	
政務活動の具体的内容	項　目	①調査研究費　②研修費　③広報費　④広聴費 ⑤要請・陳情活動費　⑥会議費　⑦資料作成費　⑧資料購入費 ⑨人件費　⑩事務所費　⑪事務費
	内　容	市政レポート４５号のDM発送費用（封入封緘作業・資材費含む）として 市民に市政報告するためのレポート配送費用 領収書別添 ※内容を詳細に記載し、報告書がある場合は添付すること
支出の内容	金　額	２２９，８５８円　（消費税込）
	内　訳	市政レポート４５号のDM発送費用（封入封緘作業・資材費含む）として DM費用（封入封緘作業費・資材費含む）　2,223通×@94円＝208,962円 ２０８，９６２円×１．１＝２２９，８５８円（税込） ※添付する領収書等と同一番号を付記し対応関係を明らかにすること
備　考		

※領収書等は領収書等貼付用紙（別様）に貼付し、この報告書に添付すること

領収書等貼付用紙

管理番号 ※	10－2

領収書等は重ならないように貼付すること



領収書

大岡 亮 様

¥229,858※

No001041

但し 市政レポートVol.45DM発送費など（2223通×@94） として
2023 年 10 月 4 日 上記の金額正に領収致しました。

内訳	金額
消費税	¥20,896-

〒963-8025
福島県郡山市桑野4-4-41
有限会社プリントニシ[redacted]
024-934-2489/024-934-2493

※管理番号は政務活動報告書（個表）と同一とし、複数にわたるときは枝番を付すること

10-2

請求書

No01151

2023年 09月 30日

[redacted]

木岡　崇 御中

〒963-8025
福島県郡山市桑野4-4-41

有限会社プリントニシダ[redacted]

024-934-2489/024-934-2493

下記の通り御請求致します。
銀行/支店　大東銀行 朝日支店
口座番号 [redacted]
口座名義　有限会社プリントニシダ

合計金額　¥229,858-（消費税込）

品名	数量	単位	単価	金額	備考
市政レポートＶｏｌ.45 ＤＭ便発送費	2,223	通	84	186,732	立替払い
資材費など諸経費	2,223	通	10	22,230	
小計				208,962	
消費税(10%)				20,896	
合計				229,858	

れいわ 新選組
川口市議会議員 47 歳 10-2
◆発行責任者 木岡たかし〔連絡先〕[redacted]
TEL:[redacted] Mail:[redacted]

木岡 たかしの熱い想い

市政レポート Vol.45 [2023.8]

◆税金の使い道 徹底的に監視します！

◆子育てにお金のかからない街にします！

◆高齢者が安心して生活できる街を実現します！

社会の不公正に沈黙しない！ 川口市の闇に切り込む!!

―長いものに巻かれず、忖度しない、モノ言う議員が必要です!―

美術館建設費が明らかに！ その額 42 億円！

これまで川口市は、市立美術館の建設費について、具体的な数字を明らかにしてきませんでした。しかし、6 月市議会でのわたし木岡の質問で初めて明らかになりました。その額なんと 42 億円!!!

わたし木岡は、これからの川口市を考えた時に、多額の税金を投入して市立美術館を建設する必要が本当にあるのかと、何度も市議会で訴えてきました。しかし、これまで建設費すらまともに示さないまま、建設に向けた行政施策が着々と進められてきました。改めて、市立美術館建設計画の問題点についてご報告します。

市立美術館建設の 5 つの問題点

問題点その 1 【ふくれあがる建設費】

市立美術館計画が出た当初は、再開発手法を利用して 20 億円程度で建設するとの話がありました。しかし、明らかになった美術館建設計画の実施設計段階での建設費が 42 億円と示されました。しかもこの 42 億円ですら、今後さらに増額となる危険性がある数字です。

問題点その 2 【美術館の維持・管理費は不明のまま】

さらに、建設後のランニングコストはいまだに不明だということです。

美術館と言うのは、作って終わりではありません。美術品の展示・維持・管理、イベント企画、集客など、当然に多額のランニングコストが必要になります。

現在、市立美術館計画の基本設計が完成し、床面積や展示エリア、配置する人員（10 人）まで決まっています。ですから、想定のランニングコストの試算は出せるにもかかわらず、市側は、出せるのに出したくないから、ランニングコストは分からないと答弁しています。

市立美術館計画の詳細を市民に知られないように知られないようにするこの川口市の姿勢が問題です。

〔2 ページにつづく〕

木岡たかし［profile］

公式ホームページ 木岡 たかし [redacted]

[redacted] 2007 年（平成 19 年）川口市議会議員選挙で初当選。2023 年再選。現在 5 期目。

川口市議会「立憲民主党・新風会」所属
【所属委員会】●総務常任委員会 ●議会運営委員会 ●都市整備整備・危機管理対策特別委員会 [redacted]

問題点その３【競争原理の働かない事実上の随意契約について】

実施設計時にＥＣＩ方式（工事や設計業務等を発注する際に採用される発注方式の一つ）を初めて採用するのですが、このＥＣＩ方式とは、実際の施工時の手間が省けるなどのメリットがある一方で、設計業者と施工業者が手を握ってしまえば、建築コストが言い値になって高額になる危険性があることが最大のデメリットとなります。競争原理の働かない事実上の随意契約となってしまうということです。

市側は、競争原理の働かない随意契約のデメリットをクリアして適正価格での契約を実現するためとして、コンストラクションマネジメントを採用すると説明しますが、その費用にさらに5,500万円もかかるのです。

そもそも適正価格での工事契約が、チェックしないと危ぶまれるようなECI方式を採用すること自体が問題です。ＥＣＩ方式では、建築事業者の選定過程を不透明化してしまい不正の余地を広げることとなります。

問題点その４【心配な建築工法】

美術館建設基本設計によれば、市立美術館はリリアの西側にある川口駅西口駐車場をそのままにして、その上に美術館を建設するとの方針ですが、非常に心配です。

通常、建築するときには、上に乗る建物の重さを考えて基礎構造を決めます。費用をかけて必要以上の基礎構造とすることは基本的にありません。西口駐車場の基礎だって、現在の西口駐車場の重さを考慮して基礎構造が決められているはずです。その基礎の補強もないまま、いくら駐車場の上の土をどけると言っても、4,300㎡もの広さの骨造の美術館を建設して大丈夫なのでしょうか。そこで市側には、どける土の重量と、新たに建築する美術館の重量はいくらを見込んでいるのか尋ねました。

市側の答弁・・・「川口駅西口地下公共駐車場の構造計算書における設計荷重として、土盛り荷重約１万5,000トンが見込まれており、新たに建設する美術館は、この荷重を上回らない建物を予定している」とのこと。引き続きのチェックが必要です。

問題点その５【市民からの意見聴取を拒否】

市立美術館建設の是非を市民に問う時、単純に「美術館があったら良いと思いますか」と聞いたら、多くの方が、「美術館があった方がよい」と回答すると思います。私もそうです。

しかし、建築費やその後の管理・運営コストを考慮した時の市民の意見は、前提条件が変わる訳ですから、市民意識も当然に変わるのではと考えております。であるならば、建築費などのイニシャルコストのみならず、完成後の維持・管理のためのランニングコストも示した上で、美術館建設そのものの是非も含めて市民の意見聴取を行うべきだと考えます。

ですから質疑において、市立美術館にかかわるすべての費用を公開した上で、市民からの意見聴取をすべきと求めました。

しかし市側の答弁は、「２度にわたってパブリックコメントを実施し、市民の皆様からご意見を伺いましたことから、改めて意見聴取の機会を設ける予定はございません」と、これ以上は市民から意見聴取しないとの回答でした。

とんでもない答弁です。２度パブリックコメントをしたと言いますが、その時点では建設費も維持・管理費もいっさい明らかにしていません。そうしたタイミングで、たった２回パブリックコメントをしただけで、もう市民のご意見は聞きませんと言う答弁です。

そんな川口市の姿勢が問題なのです。建設費や維持管理費が明らかになった時点で市民の意見を聞くように、引き続き市側に求めていきます。

建設予定候補地近くの
川口駅西口

JR東日本が営業活動で使う「線路」や「ホーム」の建設費まで300～400億円全額を川口市民の税金投入でいいのか!?

川口駅への中距離電車停車に伴う駅舎等の改修費用の全額を、川口市民の貴重な税金300億円～400億円つぎ込むことの是非について、ずっと追及しています。

現在、昨年（2022年）11月に川口市とＪＲ東日本で結んだ「東北本線川口駅ホーム増設等に係る駅改良の調査の実施に関する協定書」に基づいて、ホーム増設等の計画策定、それに基づく事業費の算定等の調査をＪＲ東日本が実施しております。

この調査によって2023年度中に、工事費用の概算が示されることとなります。

【誰が工事費用を負担するのか?】

そこで問題となるのは、その工事費用をだれが負担するかです。新たに建設する「駅舎」や「ホーム」や「線路」を使って営業活動をするのはＪＲ東日本ですから、原則的に費用を負担するのはＪＲ東日本であるべきです。

しかし川口市は、駅舎のみならずホームも線路も全部、川口市民が税金で負担する方針です。それほど多額の予算があるのなら、介護保険料や国民健康保険税の軽減策など物価高の中の市民生活を支える予算として使うべきです。

予算の優先順位を変えれば実現できます！

例えば、

- その１
  予算の優先順位を変えれば、「みんななかまバス」のルートの細分化と増便が実現できます。また、デマンド型交通（利用者の予約に応じて運行経路や運航スケジュールを決めるバスとタクシーの良いとこ取りの公共交通）の実現も可能です。実現すれば、高齢者やベビーカーを押した方、妊婦さんなど移動に支障がある方、誰でも安心して移動ができる市内交通に一歩前進します。
- その２
  予算の優先順位を変えれば、保育料の軽減を拡充できます。
- その３
  予算の優先順位を変えれば、学校給食費、教材費の無償化による保護者負担軽減ができます。
- その４
  予算の優先順位を変えれば、介護保険料の負担軽減ができます。
- その５
  予算の優先順位を変えれば、国民健康保険税の負担軽減策の拡充ができます。

10-2

川口駅周辺の再開発事業は ごく一部の権利者が得をするだけ！

再開発事業とは、不健全な都市機能の改善事業というのが大義名分であります。しかし現実の駅前再開発事業は、駅前の一等地に不動産を持つ比較的裕福な方のために市民の貴重な税金が投入されるだけの結果に往々にしてなっています。

【84人の権利者に約100億円の税金が】

現に、ほぼ完成した川口駅前の栄町3丁目銀座地区の再開発事業では、約35億円も川口市民の貴重な税金が投入されていますが、当該再開発の権利者は個人・法人あわせてたったの84人です。60万人いる市民の中のたった84人の権利者にかかわる事業に、国・県からの税金投入を合わせると約100億円の税金がつぎ込まれました。

【川口駅前に土地を持つ権利者に税金で支援する必要性はあるのか】

そもそも川口駅前は川口市の中では不動産的価値が一番ある地域です。その川口駅前に不動産を持っている権利者に、再開発の名のもとに税金で支援する必要があるのでしょうか。それこそ市場の採算性に任せて民間主導の開発行為を政策的に促す方法に、市の方針を変えるべきです。

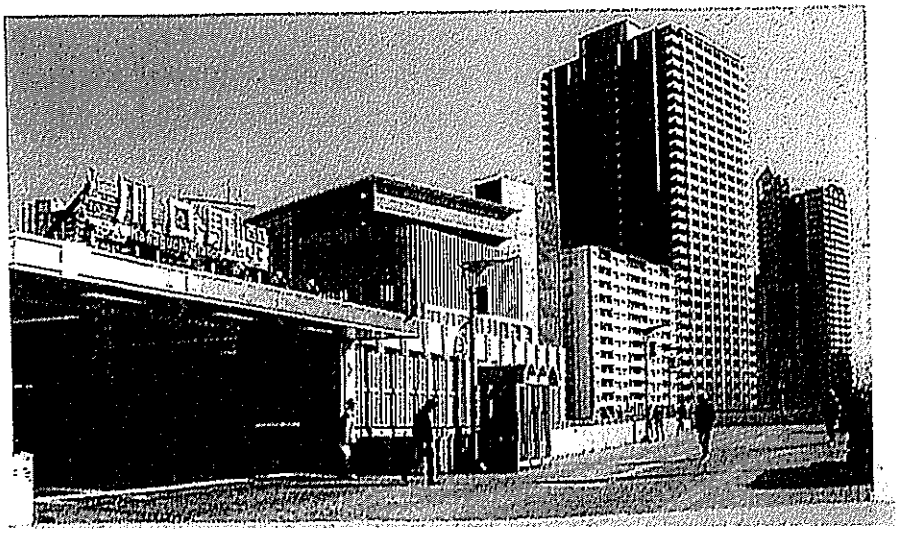
【駅前再開発事業には多額の税金投入をする一方で、遅れたままの市民生活の基盤整備】

◎予算不足で遅々として進まない区画整理
◎市民が日々使う生活道路の「とまれ」の等の道路標識や白線が消えたまま
◎終わっていない下水道整備（市内には汲み取り便所が約900軒）
◎改善がまだ終わっていない危険な通学路も多数
◎高齢者や足の不自由な方にとって非常に危険なデコボコのままの歩道も多数
◎利便性の低いコミュニティバス（みんななかまバス）・進まぬ買い物弱者支援

駅前再開発ではなく、市民生活の基盤整備こそ優先すべき！

【税金投入を前提とした古い再開発事業は中止すべき】

現在、川口市が進めようとしている従来型の税金投入を前提とした再開発はすべて中止すべきです。そんなお金があるのなら、上記の市民生活の基盤整備にこそ予算を使うべきです。



政務活動報告書（個表）

管理番号	10－3	作成　10月31日
会派(議員)名		川口新風会　木岡　崇
実施年月日		2023年10月4日
政務活動の具体的内容	項　目	①調査研究費　②研修費　③広報費　④広聴費 ⑤要請・陳情活動費　⑥会議費　⑦資料作成費　⑧資料購入費 ⑨人件費　⑩事務所費　⑪事務費
	内　容	市民への市政報告のための市政レポート45号の制作および印刷代として 領収書別添 ※内容を詳細に記載し、報告書がある場合は添付すること
支出の内容	金　額	４５８，１５０円　（消費税込）
	内　訳	領収書別添 市政レポート４５号の制作および印刷費として ４９，０００枚×@８．５円＝４１６，５００円（税抜） ４１６，５００円×１．１＝４５８，１５０円（税込） ※添付する領収書等と同一番号を付記し対応関係を明らかにすること
備　考		

※領収書等は領収書等貼付用紙（別様）に貼付し、この報告書に添付すること

領収書等貼付用紙

管理番号 ※	10-3

領収書等は重ならないように貼付すること

No001042

領収書

木岡 崇様

¥458,150※

但し：市政レポートVol.45印刷費（49,000枚×@8.5）として
2023年10月4日 上記の金額正に領収致しました。

内訳	金額
消費税	¥41,650-

〒963-8025
福島県郡山市桑野4-4-41
有限会社プリントニシダ
[redacted]
024-934-2489/024-934-2493

※管理番号は政務活動報告書（個表）と同一とし、複数にわたるときは枝番を付すること

10-3

請求書

No02468

2023年 09月 30日

[redacted]

木岡　崇 御中

〒963-8025
福島県郡山市桑野4-4-41
有限会社プリントニシダ
[redacted]
024-934-2489/024-934-2493

下記の通り御請求致します。

合計金額　￥458,150-（消費税込）

品名	数量	単位	単価	金額	備考
市政レポートＶｏｌ.45　印刷費	49,000	枚	8.5	416,500	
小計				416,500	
消費税(10%)				41,650	
合計				458,150	

備　考：市政レポートＶｏｌ.45　A3　2つ折り　コート　カラー

れいわ 新選組
川口市議会議員 47歳 10-3
◆発行責任者 木岡たかし〔連絡先〕[redacted]
TEL:[redacted] Mail:[redacted]

木岡 たかしの熱い想い

市政レポート Vol.45 [2023.8]

◆税金の使い道 徹底的に監視します！

◆子育てにお金のかからない街にします！

◆高齢者が安心して生活できる街を実現します！

社会の不公正に沈黙しない！ 川口市の闇に切り込む！！

―長いものに巻かれず、忖度しない、モノ言う議員が必要です!―

美術館建設費が明らかに！ その額 42 億円！

これまで川口市は、市立美術館の建設費について、具体的な数字を明らかにしてきませんでした。しかし、6月市議会でのわたし木岡の質問で初めて明らかになりました。その額なんと 42 億円!!!

わたし木岡は、これからの川口市を考えた時に、多額の税金を投入して市立美術館を建設する必要が本当にあるのかと、何度も市議会で訴えてきました。しかし、これまで建設費すらまともに示さないまま、建設に向けた行政施策が着々と進められてきました。改めて、市立美術館建設計画の問題点についてご報告します。

市立美術館建設の5つの問題点

問題点その1 【ふくれあがる建設費】

市立美術館計画が出た当初は、再開発手法を利用して 20 億円程度で建設するとの話がありました。しかし、明らかになった美術館建設計画の実施設計段階での建設費が 42 億円と示されました。しかもこの 42 億円ですら、今後さらに増額となる危険性がある数字です。

問題点その2 【美術館の維持・管理費は不明のまま】

さらに、建設後のランニングコストはいまだに不明だということです。

美術館と言うのは、作って終わりではありません。美術品の展示・維持・管理、イベント企画、集客など、当然に多額のランニングコストが必要になります。

現在、市立美術館計画の基本設計が完成し、床面積や展示エリア、配置する人員（10 人）まで決まっています。ですから、想定のランニングコストの試算は出せるにもかかわらず、市側は、出せるのに出したくないから、ランニングコストは分からないと答弁しています。

市立美術館計画の詳細を市民に知られないように知られないようにするこの川口市の姿勢が問題です。

[2 ページにつづく]

木岡たかし [profile]

公式ホームページ 木岡 たかし [redacted]

[redacted] 2007 年（平成 19 年）川口市議会議員選挙で初当選。2023 年再選。現在 5 期目。

川口市議会「立憲民主党・新風会」所属

【所属委員会】●総務常任委員会 ●議会運営委員会 ●都市基盤整備・危機管理対策特別委員会 [redacted]

問題点その３【競争原理の働かない事実上の随意契約について】

実施設計時にＥＣＩ方式（工事や設計業務等を発注する際に採用される発注方式の一つ）を初めて採用するのですが、このＥＣＩ方式とは、実際の施工時の手間が省けるなどのメリットがある一方で、設計業者と施工業者が手を握ってしまえば、建築コストが言い値になって高額になる危険性があることが最大のデメリットとなります。競争原理の働かない事実上の随意契約となってしまうということです。

市側は、競争原理の働かない随意契約のデメリットをクリアして適正価格での契約を実現するためとして、コンストラクションマネジメントを採用すると説明しますが、その費用にさらに5,500万円もかかるのです。

そもそも適正価格での工事契約が、チェックしないと危ぶまれるようなECI方式を採用すること自体が問題です。ＥＣＩ方式では、建築事業者の選定過程を不透明化してしまい不正の余地を広げることとなります。

問題点その４【心配な建築工法】

美術館建設基本設計によれば、市立美術館はリリアの西側にある川口駅西口駐車場をそのままにして、その上に美術館を建設するとの方針ですが、非常に心配です。

通常、建築するときには、上に乗る建物の重さを考えて基礎構造を決めます。費用をかけて必要以上の基礎構造とすることは基本的にありません。西口駐車場の基礎だって、現在の西口駐車場の重さを考慮して基礎構造が決められているはずです。その基礎の補強もないまま、いくら駐車場の上の土をどけると言っても、4,300㎡もの広さの鉄骨造の美術館を建設して大丈夫なのでしょうか。そこで市側には、どける土の重量と、新たに建築する美術館の重量はいくらを見込んでいるのか尋ねました。

市側の答弁・・・「川口駅西口地下公共駐車場の構造計算書における設計荷重として、土盛り荷重約１万5,000トンが見込まれており、新たに建設する美術館は、この荷重を上回らない建物を予定している」とのこと。引き続きのチェックが必要です。

問題点その５【市民からの意見聴取を拒否】

市立美術館建設の是非を市民に問う時、単純に「美術館があったら良いと思いますか」と聞いたら、多くの方が、「美術館があった方がよい」と回答すると思います。私もそうです。

しかし、建築費やその後の管理・運営コストを考慮した時の市民の意見は、前提条件が変わる訳ですから、市民意識も当然に変わるのではと考えております。であるならば、建築費などのイニシャルコストのみならず、完成後の維持・管理のためのランニングコストも示した上で、美術館建設そのものの是非も含めて市民の意見聴取を行うべきだと考えます。

ですから質疑において、市立美術館にかかわるすべての費用を公開した上で、市民からの意見聴取をすべきと求めました。

しかし市側の答弁は、「2度にわたってパブリックコメントを実施し、市民の皆様からご意見を伺いましたことから、改めて意見聴取の機会を設ける予定はございません」と、これ以上は市民から意見聴取しないとの回答でした。

とんでもない答弁です。2度パブリックコメントをしたと言いますが、その時点では建設費も維持・管理費もいっさい明らかにしていません。そうしたタイミングで、たった2回パブリックコメントをしただけで、もう市民のご意見は聞きませんと言う答弁です。

そんな川口市の姿勢が問題なのです。建設費や維持管理費が明らかになった時点で市民の意見を聞くように、引き続き市側に求めていきます。

建設予定候補地近くの
川口駅西口

JR東日本が営業活動で使う「線路」や「ホーム」の建設費まで300～400億円全額を川口市民の税金投入でいいのか!?

川口駅への中距離電車停車に伴う駅舎等の改修費用の全額を、川口市民の貴重な税金300億円～400億円つぎ込むことの是非について、ずっと追及しています。

現在、昨年（2022年）11月に川口市とＪＲ東日本で結んだ「東北本線川口駅ホーム増設等に係る駅改良の調査の実施に関する協定書」に基づいて、ホーム増設等の計画策定、それに基づく事業費の算定等の調査をＪＲ東日本が実施しております。

この調査によって2023年度中に、工事費用の概算が示されることとなります。

【誰が工事費用を負担するのか?】

そこで問題となるのは、その工事費用をだれが負担するかです。新たに建設する「駅舎」や「ホーム」や「線路」を使って営業活動をするのはＪＲ東日本ですから、原則的に費用を負担するのはＪＲ東日本であるべきです。

しかし川口市は、駅舎のみならずホームも線路も全部、川口市民が税金で負担する方針です。それほど多額の予算があるのなら、介護保険料や国民健康保険税の軽減策など物価高の中の市民生活を支える予算として使うべきです。

予算の優先順位を変えれば実現できます！

例えば、

その1

予算の優先順位を変えれば、「みんななかまバス」のルートの細分化と増便が実現できます。
また、デマンド型交通（利用者の予約に応じて運行経路や運航スケジュールを決めるバスとタクシーの良いとこ取りの公共交通）の実現も可能です。実現すれば、高齢者やベビーカーを押した方、妊婦さんなど移動に支障がある方、誰でも安心して移動ができる市内交通に一歩前進します。

その2

予算の優先順位を変えれば、保育料の軽減を拡充できます。

その3

予算の優先順位を変えれば、学校給食費、教材費の無償化による保護者負担軽減ができます。

その4

予算の優先順位を変えれば、介護保険料の負担軽減ができます。

その5

予算の優先順位を変えれば、国民健康保険税の負担軽減策の拡充ができます。

10-3

川口駅周辺の再開発事業は ごく一部の権利者が得をするだけ！

再開発事業とは、不健全な都市機能の改善事業というのが大義名分であります。しかし現実の駅前再開発事業は、駅前の一等地に不動産を持つ比較的裕福な方のために市民の貴重な税金が投入されるだけの結果に往々にしてなっています。

【84人の権利者に約100億円の税金が】

現に、ほぼ完成した川口駅前の栄町3丁目銀座地区の再開発事業では、約35億円も川口市民の貴重な税金が投入されていますが、当該再開発の権利者は個人・法人あわせてたったの84人です。60万人いる市民の中のたった84人の権利者にかかわる事業に、国・県からの税金投入を合わせると約100億円の税金がつぎ込まれました。

【川口駅前に土地を持つ権利者に税金で支援する必要性はあるのか】

そもそも川口駅前は川口市の中では不動産的価値が一番ある地域です。その川口駅前に不動産を持っている権利者に、再開発の名のもとに税金で支援する必要があるのでしょうか。それこそ市場の採算性に任せて民間主導の開発行為を政策的に促す方法に、市の方針を変えるべきです。

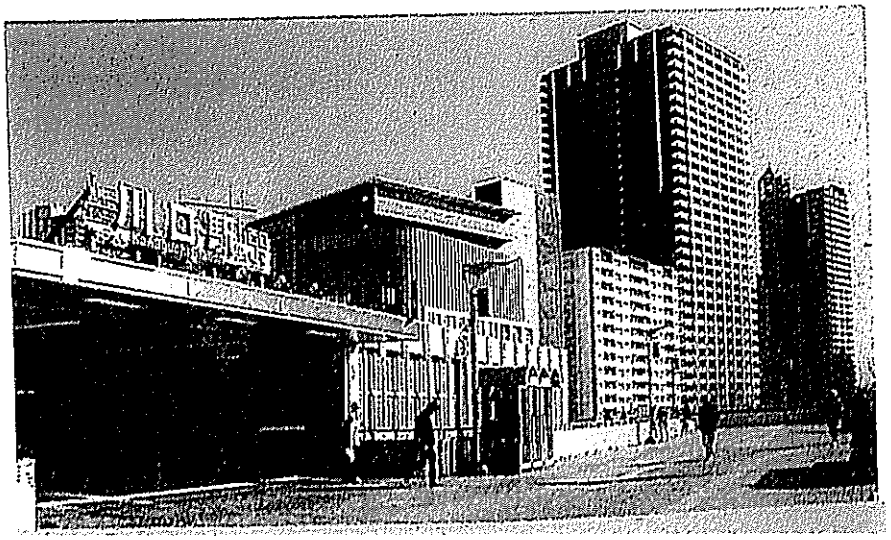
【駅前再開発事業には多額の税金投入をする一方で、遅れたままの市民生活の基盤整備】

◎予算不足で遅々として進まない区画整理
◎市民が日々使う生活道路の「とまれ」の等の道路標識や白線が消えたまま
◎終わっていない下水道整備（市内には汲み取り便所が約900軒）
◎改善がまだ終わっていない危険な通学路も多数
◎高齢者や足の不自由な方にとって非常に危険なデコボコのままの歩道も多数
◎利便性の低いコミュニティバス（みんななかまバス）・進まぬ買い物弱者支援

駅前再開発ではなく、市民生活の基盤整備こそ優先すべき！

【税金投入を前提とした古い再開発事業は中止すべき】

現在、川口市が進めようとしている従来型の税金投入を前提とした再開発はすべて中止すべきです。そんなお金があるのなら、上記の市民生活の基盤整備にこそ予算を使うべきです。



政務活動報告書（個表）

管理番号	10－4	作成　１０月３１日
会派(議員)名	立憲新風会　木岡　崇	
実施年月日	2023年10月10日	
政務活動の具体的内容	項　目	①調査研究費　②研修費　③広報費　④広聴費 ⑤要請・陳情活動費　⑥会議費　⑦資料作成費　⑧資料購入費 ⑨人件費　⑩事務所費　⑪事務費
	内　容	政務活動における資料収集・資料のまとめ等に活用するためのパソコン購入 領収書別添 ※内容を詳細に記載し、報告書がある場合は添付すること
支出の内容	金　額	６５，５９４円　（消費税込）
	内　訳	領収書別添 政務活動における資料収集・資料のまとめ等に活用するためのパソコン購入 購入機器：Microsoft　Surface Laptop 5 QZI-00020 購入価格：１３１，１８８円×1/2＝６５，５９４円 ※添付する領収書等と同一番号を付記し対応関係を明らかにすること
備　考		

※領収書等は領収書等貼付用紙（別様）に貼付し、この報告書に添付すること

10-4

領収書

購入者名：木岡崇様

131,188円

上記、正に受領いたしました。

領収書番号	20231010-100066709
決済日	2023/10/10
決済手段	JCB(UOB)

株式会社ユニーク
住所：〒335-0004
埼玉県蕨市中央
5-20-25-301
Tel：+81-050-5373-3583
Mobile：
E-mail：happywendy11@hotmail.com

明細書

注文番号	商品名	数量	商品金額	割引	小計
880853244	Surface Laptop 5 QZI-00020	1	139,790円	8,602円	131,188円

送料	0円
合計金額(税込み)	131,188円

＊ Qoo10で販売者を代行して領収書を発行いたします。
＊ 二回目以降は再発行領収書として発行されます。

閉じる　印刷する

政務活動報告書（個表）

管理番号	2-1	作成　2024年2月29日
会派(議員)名	新風会　木岡　崇	
実施年月日	2024年2月8日	
政務活動の具体的内容	項　目	①調査研究費　②研修費　③広報費　④広聴費 ⑤要請・陳情活動費　⑥会議費　⑦資料作成費　⑧資料購入費 ⑨人件費　⑩事務所費　⑪事務費
	内　容	市民への市政報告のための市政レポート４６号の制作および印刷代として 領収書別添 ※内容を詳細に記載し、報告書がある場合は添付すること
支出の内容	金　額	５１４，９３２円　（消費税込）
	内　訳	領収書別添 市政レポート４６号の制作および印刷費として ５６，４００枚×@８．３円＝４６８，１２０円（税抜） ４６８，１２０円×１．１＝５１４，９３２円（税込） ※添付する領収書等と同一番号を付記し対応関係を明らかにすること
備　考		

※領収書等は領収書等貼付用紙（別様）に貼付し、この報告書に添付すること

2-1

請求書

No01225

2024年 1月 30日

[redacted]

木岡 崇 様

〒963-8025
福島県郡山市桑野4-4-41 [redacted]

有限会社プリントニシダ
024-934-2489/024-934-2493

登録番号：T4380002011978

下記の通り御請求致します。
銀行/支店 大東銀行 朝日支店
口座番号 [redacted]
口座名義 有限会社プリントニシダ

合計金額 ￥514,932- (消費税込)

品名	数量	単位	単価	金額	備考
市政レポートVo.146 印刷費	56,400	枚	8.3	468,120	
小計				468,120	
消費税(10%)				46,812	
合計				514,932	

備 考：A3 2つ折り コート カラー

領収書等貼付用紙

領収書

木岡　崇様

¥514,932※

但し　市政レポート46号印刷費（56,400枚　@8.3）　代金として
2024 年 2 月 8 日 上記の金額正に領収致しました。

内訳	金額
消費税	¥46,812-

〒963-8025
福島県郡山市桑野4-4-41
[redacted]
有限会社プリントニシダ[redacted]
024-934-2489/024-934-2493

登録番号：T4380002011978

管理番号
※
1-2

領収書等は重ならないように貼付すること

※管理番号は政務活動報告書（個表）と同一とし、複数にわたるときは枝番を付すること

れいわ 新選組
川口市議会議員 47歳
2-1
◆発行責任者 木岡たかし〔連絡先〕[redacted]
TEL:[redacted] Mail

木岡 たかしの熱い想い

市政レポート Vol.46 [2024.1]

社会の不公正に沈黙しない！川口市の闇に切り込む!!

―長いものに巻かれず、忖度しない、モノ言う議員が必要です！―

この間、ずっと取り組んでおります市立美術館建設について、2023年12月の川口市議会であらためて以下の3つの大問題について追及しましたので、ご報告します。

大問題 1 新築する美術館の耐用年数が残っているのに使用できなくなる!!

～そんな美術館の新築に貴重な税金を突っ込むのか？～

今回の市立美術館は、川口駅西口地下公共駐車場の上に建設予定です。そのため建築後33年が経過している駐車場を基礎構造として、その上に美術館を建設するのですが、駐車場が先に50年の建て替えを実施すべき耐用年数に到達してしまいます。

※川口市の『公共施設等総合管理計画』では、公共施設・建物について「建築後20年で大規模改修、50年で建て替えを実施する」と規定している。

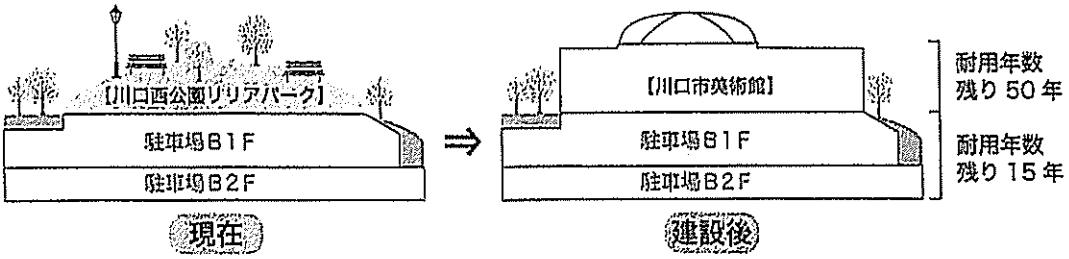
市議会で明らかになったこと・・・

市立美術館の基礎構造となる西口地下公共駐車場の耐用年数は、その上に新築される美術館よりも35年以上も早く耐用年数が切れるという致命的な問題があるということが明らかになりました。

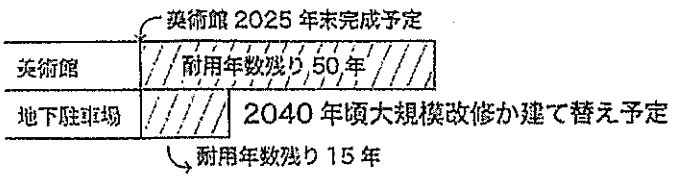
こうなれば、上物である建築物としての美術館の耐用年数が、35年以上も残っているにもかかわらず、基礎構造である地下駐車場が耐用年数を迎えるため、その時点で、美術館は安全面で使用できなくなるか、地下駐車場と共に建て直す事になりかねない事が市議会での**わたし木岡**の追及で明らかになりました。

耐用年数を使いきれない建築物に貴重な税金を投入すべきではありません。

◆リリアの西側から見た「市美術館」建設前後の予想断面図



◆新美術館と地下駐車場の耐用年数比較



[2ページにつづく]

大問題 2 たった半年で15億円も増えた建設費！すでに57億円に！まるで大阪万博の建設費！

川口市が進める市立美術館計画の建設費用が、うなぎ上りで増えてしまっています。

2023年12月市議会では、美術館建設費用がさらに増えて約57億円にもなる補正予算が、賛成多数で可決されました。

市立美術館の建設費用は、当初20億円とされていました。それが2023年6月市議会において約42億円に膨れ上がり、さらに、たった半年後の12月市議会において、なんと約52億円にもなったのです。しかも建設コストのアップは、これだけでは収まらず、既存の川口駅西口地下公共駐車場の上に美術館を建設する変則的な建築の影響もあり、駐車場の改修工事も連動して実施することになったため、この改修費用に約4億8,000万円もの費用がプラスされました。合わせると約15億円の建設コストアップになってしまったのです。

○市立美術館構想当初・・・20億円程度
○2023年6月時点　・・・42億円
○2023年12月時点・・・57億円

建設コストにかかわる危険性①

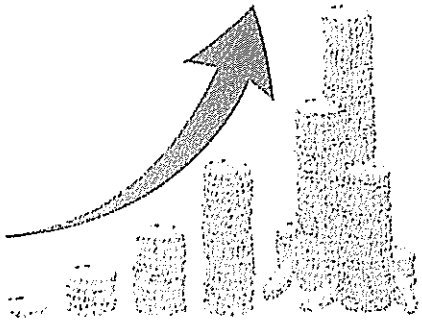
建設コストが今後も上がる危険性がある

昨今の世界情勢を見れば、いま高騰している建設資材が落ち着くことは考えにくいです。さらに、建設業界の働き方の見直しによって人件費が伸びることは間違いありません。そうなれば、現在の建設費約57億円がもっと増えてしまう危険性は高いと言えます。

建設コストにかかわる危険性②

施工業者の選定が随意契約のため工事費が業者の言い値になってしまう危険性がある

市立美術館の建設事業では、施工事業者が事実上の1社随意契約となっているため、建設費用について今後、事業者の言いなりになってしまう危険が多分にあることも改めて明らかになりました。



写真はイメージです

大問題 3 無計画！ずさんな美術館建設計画の実態が次々と明らかに

わたし木岡の質問に対して、更に市側は以下のことを明らかにしました。

◆来場者数について「想定していません」

◆入館料金について「検討していません」

◆維持・管理費について
「同規模の公立美術館では、約2億5,000万円ですが、川口市においてはこれから積算します」

◆運営形態について「これから検討します」

◆展示物の購入について「未定です」

試算も想定もないまま、無計画な美術館（箱モノ）建設だけが進んでいます！！

普通、市立美術館の建設を計画するのであれば、どういった施設を作り、どういった運営をして、どのくらいの入場者を見込んで、どのくらいの料金体系（無料も含む）にして、維持・管理などの運営費にどれくらいの税金投入が必要になるのか、などの基本的事項を試算して計画を練るべきです。しかし、12月市議会で次々と明らかになったことは、上記のように基本的事項のほとんどについて、試算も想定もせずに無計画なまま、箱モノの建設だけが先行する“ずさんな美術館建設計画”だったのです。

支離滅裂な市側答弁・・・試算はしてないが『独立採算』の方向性！？

前述のように基本的な運営費などについて試算や想定を何もしていない一方で、市側は、『同規模の公立美術館の運営費は約２億 5,000 万円』と答弁し、その上で、市立美術館の運営コストについて『独立採算』との方針を示したのです。

そもそも公立美術館では高額な入館料は取れませんし、取るべきではありません。

ちなみに埼玉県立近代美術館の入場料は無料です。もし年間の運営費２億 5,000 万円を有料入場者のチケット代で賄おうとすれば、どうなるでしょうか。簡単な計算をしてみます。

【前提条件】
①年間運営費2億5,000万円とする
②1ヵ月の開館日数を25日間とする
③1日の開館時間を午前10時～午後6時の8時間とする
④子ども、高齢者、障碍者以外の有料入場料を500円とする

計算すると・・・

写真はイメージです

常に１時間当たり200人以上、毎日1660人もの有料入場者が押し寄せる美術館じゃないと成り立たない！

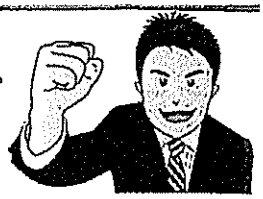
運営費２億 5,000 万円を入場料でまかない『独立採算』を実現するためには、開館日は毎日ずっと開館時から閉館時まで、１時間当たり200人以上の有料来場者がないと実現できません。連日の大盛況・大混雑です。

こうなれば良いですが、まず不可能な数字です。

今のまま市立美術館の建設につき進めば、まず建設において多額の借金をつくり、その上で完成後は維持・管理に毎年赤字を垂れ流す施設になることは間違いありません。

現に市の答弁で、市が調べた限りでは、公立美術館で黒字化できている美術館が全国に１つもないことを認めています。

ちょっと一言



改めて、わたし木岡の美術館建設に関する立場について触れます。

市立美術館は出来れば市内にあった方が良いと考えております。同時に市立美術館は、社会教育施設として無料もしくは非常に低廉な利用料を設定して、誰でも美術・芸術に触れることのできる場とすべきと考えております。

しかし、建設コストがうなぎ上りで、市内の老朽公共施設の更新事業が必要な今、美術館建設は優先すべき事業ではないと考え、市立美術館の建設に反対しています。

美術館建設より優先すべき事業は・・・

①介護保険料・国民健康保険税の引き下げ・軽減策の拡充
②小・中学校の給食費と教材費の無償化、放課後児童クラブの無償化
③老朽化した学校校舎や公民館、スポーツ施設などの更新工事
④地域の生活道路や歩道などの維持・補修の促進
（白線の塗布、誰でも歩きやすい歩道の整備、ガードレールの設置、通学路の安全確保など）
⑤0歳児～2歳児の保育料を引き下げ、第二子以降の保育料無償化
⑥交通不便エリアの解消と買い物難民対策の促進などなど

! 今なら中止できます！

無計画でずさんな計画のまま、さらなる建設コストアップのリスクを背負ってまで、市立美術館建設に突っ込むべきではありません。さらに新築で建てても耐用年数が切れる前に使用できなくなる可能性が非常に高い建築物に多額の税金をつぎ込むべきではありません。絶対に禍根を残します。少なくともいったん中止して、改めて市民の意見を聞いた上で再考すべきです。

12月市議会で明らかになった川口市政の動きについて

①子ども医療費無償化の助成対象年齢を通院・入院ともに18歳を迎える年度末までの拡大に向けて、2024年度当初予算に盛り込む方針。開始時期は2024年の秋ごろを予定。
②帯状疱疹ワクチンの接種費用の助成制度の実施に向けて前向きに検討する。
③準要保護世帯を対象とした就学援助の新入学用品費について増額できるよう検討する。
④老朽化した学校給食センターの建設用地確保に目途がついたため、用地購入予算を確保した。
⑤みんななかまバス（コミュニティバス）の利便性向上に向けて、2024年度から全体のルート見直し案の策定に着手する。
⑥放課後児童クラブにおける長期休暇中の弁当提供の試験運用開始。2024年の春休みからの本格実施を目指す。

◇税金の使い道
徹底的に監視します！

◇子育てにお金のかからない
街にします！

◇高齢者が安心して生活できる街を
実現します！

木岡たかし［profile］

公式ホームページ
木岡 たかし

[redacted]

[redacted] 2007年（平成19年）川口市議会議員選挙で初当選。2023年再選。現在5期目。

川口市議会「新風会」所属
[所属委員会] ●総務常任委員会 ●議会運営委員会 ●都市基盤整備・危機管理対策特別委員会 [redacted]

政務活動報告書（個表）

管理番号	2-2	作成　２０２４年2月２９日
会派(議員)名	新風会　木岡　崇	
実施年月日	2024年2月8日	
政務活動の具体的内容	項　目	①調査研究費　②研修費　③広報費　④広聴費 ⑤要請・陳情活動費　⑥会議費　⑦資料作成費　⑧資料購入費 ⑨人件費　⑩事務所費　⑪事務費
	内　容	市政レポート４６号のDM発送費用（封入封緘作業・資材費含む）として 領収書別添 ※内容を詳細に記載し、報告書がある場合は添付すること
支出の内容	金　額	２２８，５１４円　（消費税込）
	内　訳	領収書別添 市政レポート４２号のDM発送費用（封入封緘作業・資材費含む）として DM費用　２，２１０通×@８４円＝１８５，６４０円 DM封入封緘作業費・資材費　２，２１０通×@１０円＝２２，１００円 １８５，６４０円＋２２，１００円＝２０７，７４０円(税抜) ２０７，７４０円×１．１＝２２８，５１４円（税込） ※添付する領収書等と同一番号を付記し対応関係を明らかにすること
備　考		

※領収書等は領収書等貼付用紙（別様）に貼付し、この報告書に添付すること

請求書

No01226

2024年 1月 30日

[redacted]

木岡 崇 様

〒963-8025
福島県郡山市桑野4-4-41 [redacted]

有限会社プリントニシダ
024-934-2489/024-934-2493

登録番号：T4380002011978

下記の通り御請求致します。
銀行/支店 大東銀行 朝日支店
口座番号 [redacted]
口座名義 有限会社プリントニシダ

合計金額 ￥228,514- (消費税込)

品名	数量	単位	単価	金額	備考
市政レポートＶｏｌ.46 ＤＭ便発送費	2,210	件	84	185,640	立替払い
ＤＭ便資材費など	2,210	件	10	22,100	
小計				207,740	
消費税(10%)				20,774	
合計				228,514	

領収書等貼付用紙

領収書

木岡　崇 御中

¥228,514※

但し　市政レポート46号DM発送（2210通 @94）　代金として
2024 年 2 月 8 日 上記の金額正に領収致しました。

内訳	金額
消費税	¥20,774-

〒963-8025
福島県郡山市桑野4-4-41
[redacted]
有限会社プリントニシダ[redacted]
024-934-2489/024-934-2493

[redacted]

登録番号：T4380002011978

管理番号 ※ 1-2

領収書等は重ならないように貼付すること

※管理番号は政務活動報告書（個表）と同一とし、複数にわたるときは枝番を付すること

れいわ 新選組
川口市議会議員 47 歳
2-2
◆発行責任者 木岡たかし〔連絡先〕[redacted]
TEL:[redacted] Mail:[redacted]

木岡 たかしの熱い想い

市政レポート Vol.46 [2024.1]

社会の不公正に沈黙しない！ 川口市の闇に切り込む！！

―長いものに巻かれず、忖度しない、モノ言う議員が必要です！―

この間、ずっと取り組んでおります市立美術館建設について、2023年12月の川口市議会であらためて以下の3つの大問題について追及しましたので、ご報告します。

大問題 1 新築する美術館の耐用年数が残っているのに使用できなくなる！！

～そんな美術館の新築に貴重な税金を突っ込むのか？～

今回の市立美術館は、川口駅西口地下公共駐車場の上に建設予定です。そのため建築後33年が経過している駐車場を基礎構造として、その上に美術館を建設するのですが、駐車場が先に50年の建て替えを実施すべき耐用年数に到達してしまいます。

※川口市の『公共施設等総合管理計画』では、公共施設・建物について「建築後20年で大規模改修、50年で建て替えを実施する」と規定している。

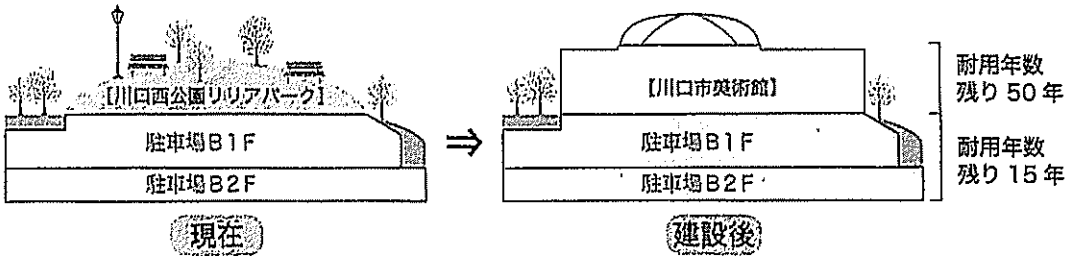
市議会で明らかになったこと・・・

市立美術館の基礎構造となる西口地下公共駐車場の耐用年数は、その上に新築される美術館よりも 35 年以上も早く耐用年数が切れるという致命的な問題があるということが明らかになりました。

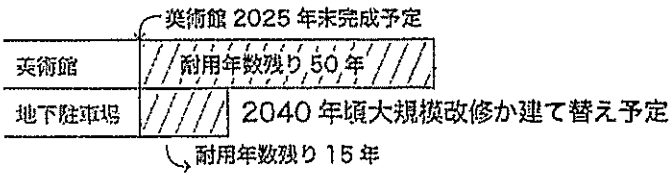
こうなれば、上物である建築物としての美術館の耐用年数が、35 年以上も残っているにもかかわらず、基礎構造である地下駐車場が耐用年数を迎えるため、その時点で、美術館は安全面で使用できなくなるか、地下駐車場と共に建て直す事になりかねない事が市議会での**わたし木**岡の追及で明らかになりました。

耐用年数を使いきれない建築物に貴重な税金を投入すべきではありません。

◆リリアの西側から見た「市美術館」建設前後の予想断面図



◆新美術館と地下駐車場の耐用年数比較



[2 ページにつづく]

大問題 2 たった半年で15億円も増えた建設費！すでに57億円に！まるで大阪万博の建設費！

川口市が進める市立美術館計画の建設費用が、うなぎ上りで増えてしまっています。

2023年12月市議会では、美術館建設費用がさらに増えて約57億円にもなる補正予算が、賛成多数で可決されました。

市立美術館の建設費用は、当初20億円とされていました。それが2023年6月市議会において約42億円に膨れ上がり、さらに、たった半年後の12月市議会において、なんと約52億円にもなったのです。しかも建設コストのアップは、これだけでは収まらず、既存の川口駅西口地下公共駐車場の上に美術館を建設する変則的な建築の影響もあり、駐車場の改修工事も連動して実施することになったため、この改修費用に約4億8,000万円もの費用がプラスされました。合わせると約15億円の建設コストアップになってしまったのです。

○市立美術館構想当初・・・20億円程度
○2023年6月時点　・・・42億円
○2023年12月時点・・・57億円

建設コストにかかわる危険性①

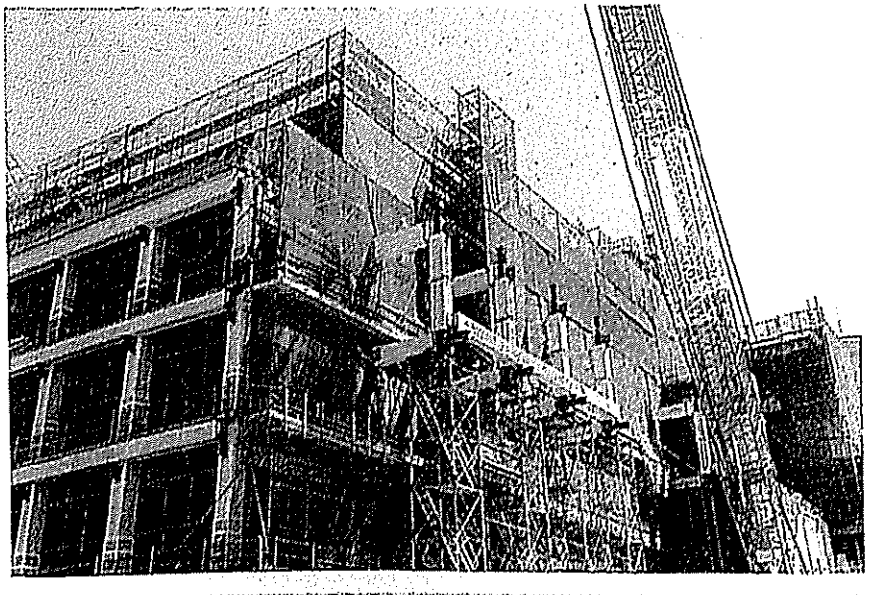
建設コストが今後も上がる危険性がある

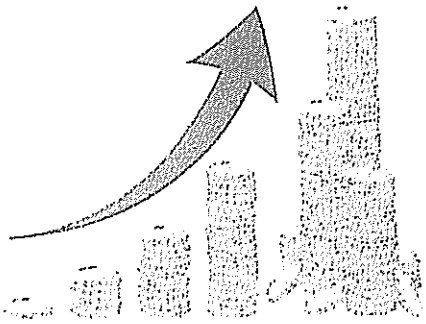
昨今の世界情勢を見れば、いま高騰している建設資材が落ち着くことは考えにくいです。さらに、建設業界の働き方の見直しによって人件費が伸びることは間違いありません。そうなれば、現在の建設費約57億円がもっと増えてしまう危険性は高いと言えます。

建設コストにかかわる危険性②

施工業者の選定が随意契約のため工事費が業者の言い値になってしまう危険性がある

市立美術館の建設事業では、施工事業者が事実上の1社随意契約となっているため、建設費用について今後、事業者の言いなりになってしまう危険が多分にあることも改めて明らかになりました。





写真はイメージです

大問題 3 無計画！ずさんな美術館建設計画の実態が次々と明らかに

わたし木岡の質問に対して、更に市側は以下のことを明らかにしました。

◆来場者数について「想定していません」

◆入館料金について「検討していません」

◆維持・管理費について
「同規模の公立美術館では、約2億5,000万円ですが、川口市においてはこれから積算します」

◆運営形態について「これから検討します」

◆展示物の購入について「未定です」

試算も想定もないまま、無計画な美術館（箱モノ）建設だけが進んでいます！！

普通、市立美術館の建設を計画するのであれば、どういった施設を作り、どういった運営をして、どのくらいの入場者を見込んで、どのくらいの料金体系（無料も含む）にして、維持・管理などの運営費にどれくらいの税金投入が必要になるのか、などの基本的事項を試算して計画を練るべきです。しかし、12月市議会で次々と明らかになったことは、上記のように基本的事項のほとんどについて、試算も想定もせずに無計画なまま、箱モノの建設だけが先行する“ずさんな美術館建設計画”だったのです。

支離滅裂な市側答弁・・・試算はしてないが『独立採算』の方向性！？

前述のように基本的な運営費などについて試算や想定を何もしていない一方で、市側は、『同規模の公立美術館の運営費は約２億5,000万円』と答弁し、その上で、市立美術館の運営コストについて『独立採算』との方針を示したのです。

そもそも公立美術館では高額な入館料は取れませんし、取るべきではありません。

ちなみに埼玉県立近代美術館の入場料は無料です。もし年間の運営費２億5,000万円を有料入場者のチケット代で賄おうとすれば、どうなるでしょうか。簡単な計算をしてみます。

【前提条件】
①年間運営費2億5,000万円とする
②1ヵ月の開館日数を25日間とする
③1日の開館時間を午前10時～午後6時の8時間とする
④子ども、高齢者、障碍者以外の有料入場料を500円とする

計算すると・・・

写真はイメージです

常に1時間当たり200人以上、毎日1660人もの有料入場者が押し寄せる美術館じゃないと成り立たない！

運営費２億5,000万円を入場料でまかない『独立採算』を実現するためには、開館日は毎日ずっと開館時から閉館時まで、１時間当たり200人以上の有料来場者がないと実現できません。連日の大盛況・大混雑です。

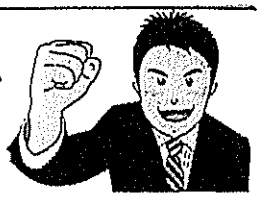
こうなれば良いですが、まず不可能な数字です。

今のまま市立美術館の建設につき進めば、まず建設において多額の借金をつくり、その上で完成後は維持・管理に毎年赤字を垂れ流す施設になることは間違いありません。

現に市の答弁で、市が調べた限りでは、公立美術館で黒字化できている美術館が全国に１つもないことを認めています。

2-2

ちょっと一言



改めて、わたし木岡の美術館建設に関する立場について触れます。

市立美術館は出来れば市内にあった方が良いと考えております。同時に市立美術館は、社会教育施設として無料もしくは非常に低廉な利用料を設定して、誰でも美術・芸術に触れることのできる場とすべきと考えております。

しかし、建設コストがうなぎ上りで、市内の老朽公共施設の更新事業が必要な今、美術館建設は優先すべき事業ではないと考え、市立美術館の建設に反対しています。

美術館建設より優先すべき事業は・・・

①介護保険料・国民健康保険税の引き下げ・軽減策の拡充
②小・中学校の給食費と教材費の無償化、放課後児童クラブの無償化
③老朽化した学校校舎や公民館、スポーツ施設などの更新工事
④地域の生活道路や歩道などの維持・補修の促進
（白線の塗布、誰でも歩きやすい歩道の整備、ガードレールの設置、通学路の安全確保など）
⑤0歳児～２歳児の保育料を引き下げ、第二子以降の保育料無償化
⑥交通不便エリアの解消と買い物難民対策の促進などなど

今なら中止できます！

無計画でずさんな計画のまま、さらなる建設コストアップのリスクを背負ってまで、市立美術館建設に突っ込むべきではありません。さらに新築で建てても耐用年数が切れる前に使用できなくなる可能性が非常に高い建築物に多額の税金をつぎ込むべきではありません。絶対に禍根を残します。少なくともいったん中止して、改めて市民の意見を聞いた上で再考すべきです。

12月市議会で明らかになった川口市政の動きについて

①子ども医療費無償化の助成対象年齢を通院・入院ともに１８歳を迎える年度末までの拡大に向けて、2024 年度当初予算に盛り込む方針。開始時期は 2024 年の秋ごろを予定。
②帯状疱疹ワクチンの接種費用の助成制度の実施に向けて前向きに検討する。
③準要保護世帯を対象とした就学援助の新入学用品費について増額できるよう検討する。
④老朽化した学校給食センターの建設用地確保に目途がついたため、用地購入予算を確保した。
⑤みんななかまバス（コミュニティバス）の利便性向上に向けて、2024 年度から全体のルート見直し案の策定に着手する。
⑥放課後児童クラブにおける長期休暇中の弁当提供の試験運用開始。2024 年の春休みからの本格実施を目指す。

◆税金の使い道
徹底的に監視します！

◆子育てにお金のかからない
街にします！

◆高齢者が安心して生活できる街を
実現します！

木岡たかし［profile］

公式ホームページ
木岡 たかし

[redacted]

2007 年（平成 19 年）川口市議会議員選挙で初当選。2023 年再選。現在 5 期目。
川口市議会「新風会」所属
[所属委員会] ●総務常任委員会 ●議会運営委員会 ●都市基盤整備・危機管理対策特別委員会 [redacted]

政務活動報告書（個表）

作成　２０２４年２月２９日

管理番号		2-3
会派(議員)名		新風会　木岡　崇
実施年月日		2024年2月14日
政務活動の具体的内容	項　目	①調査研究費　②研修費　③広報費　④広聴費 ⑤要請・陳情活動費　⑥会議費　⑦資料作成費　⑧資料購入費 ⑨人件費　⑩事務所費　⑪事務費
	内　容	市民への市政報告のための市政レポート４６号の配布代金として 領収書別添 ※内容を詳細に記載し、報告書がある場合は添付すること
支出の内容	金　額	２０５，３０６円　（消費税込）
	内　訳	領収書別添 領収書：市政レポート４６号の配布代金 ４１，４７６枚×@４．５円＝１８６，６４２円（税抜） １８６，６４２円×１．１＝２０５，３０６円（税込） ※添付する領収書等と同一番号を付記し対応関係を明らかにすること
備　考		

※領収書等は領収書等貼付用紙（別様）に貼付し、この報告書に添付すること

2-5

[redacted]

[redacted]

木岡たかし 様

株式会社クローバー
〒332-0015
埼玉県川口市川口2-15-20
適格事業者登録番号 T3011201020493
TEL:048-291-8214 / FAX:048-291-8217
担当 [redacted]

御請求日　2024年02月29日
御支払日　2024年03月31日

【2024年02月】御請求書

このたびは御依頼いただきまして誠にありがとうございます。
下記のとおり御請求申し上げます。

種別	商品名	内容	数量	単価	金額
ポスティング	木岡たかし 政策レポート46号	A3二つ折り 1/22～2/5	41,476	4.50	186,642

小計	186,642
消費税(10%)	18,664
合計	¥205,306

備考

お振込み先口座

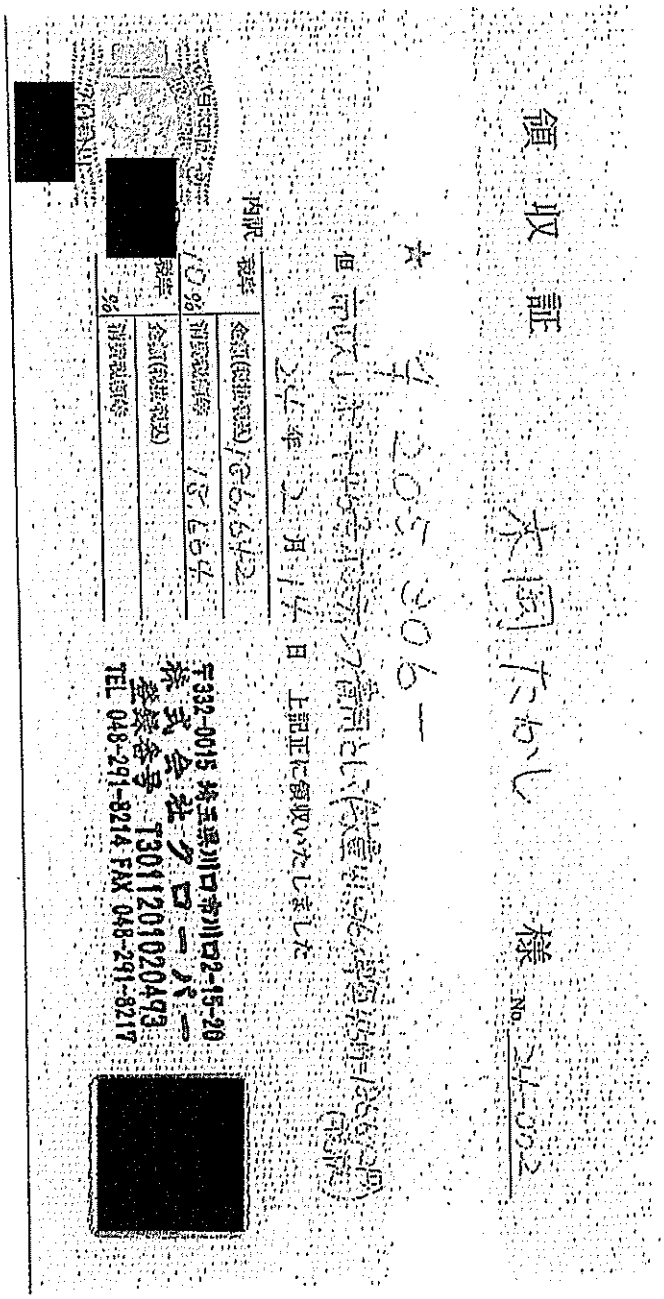
三井住友銀行 高円寺支店(089)
[redacted]
株式会社クローバー

※お振込み手数料は貴社にて御負担くださいますよう何卒お願い申し上げます。

領収書等貼付用紙

管理番号 ※	2-3

領収書等は重ならないように貼付すること



領収証　様　No. 2-1-002

¥1,205,306-

但 市民レポート作成及び発行業務として（令和6年10月分）

上記正に領収いたしました

令和6年12月17日

内訳　税率　金額(税抜き)/うち消費税等

10%　消費税等　/うち消費税

税率　金額(税抜き)

%　消費税等

[redacted]

〒332-0015 埼玉県川口市川口2-15-20

株式会社クロージャー

登録番号 T3011201020493

TEL 048-291-8214 FAX 048-291-8217

[redacted]

※管理番号は政務活動報告書（個表）と同一とし、複数にわたるときは枝番を付すること

れいわ 新選組
川口市議会議員 47歳
◆発行責任者 木岡たかし〔連絡先〕
TEL [redacted] Mail: [redacted]

木岡 たかしの熱い想い

市政レポート Vol.46 [2024.1]

社会の不公正に沈黙しない！ 川口市の闇に切り込む!!

―長いものに巻かれず、忖度しない、モノ言う議員が必要です！―

この間、ずっと取り組んでおります市立美術館建設について、2023年12月の川口市議会であらためて以下の3つの大問題について追及しましたので、ご報告します。

大問題 1 新築する美術館の耐用年数が残っているのに使用できなくなる!!

～そんな美術館の新築に貴重な税金を突っ込むのか？～

今回の市立美術館は、川口駅西口地下公共駐車場の上に建設予定です。そのため建築後33年が経過している駐車場を基礎構造として、その上に美術館を建設するのですが、駐車場が先に50年の建て替えを実施すべき耐用年数に到達してしまいます。

※川口市の『公共施設等総合管理計画』では、公共施設・建物について「建築後20年で大規模改修、50年で建て替えを実施する」と規定している。

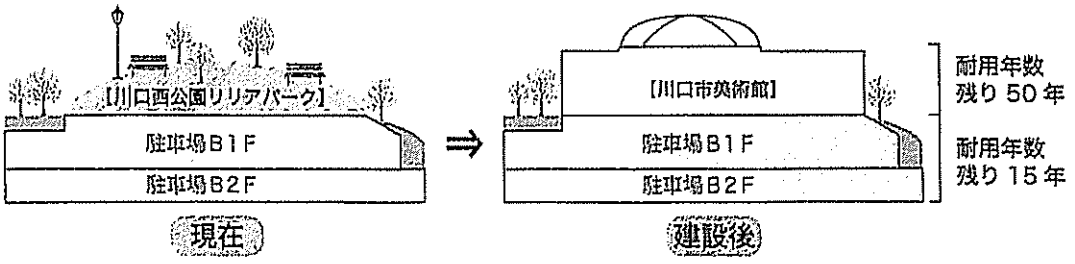
市議会で明らかになったこと・・・

市立美術館の基礎構造となる西口地下公共駐車場の耐用年数は、その上に新築される美術館よりも35年以上も早く耐用年数が切れるという致命的な問題があるということが明らかになりました。

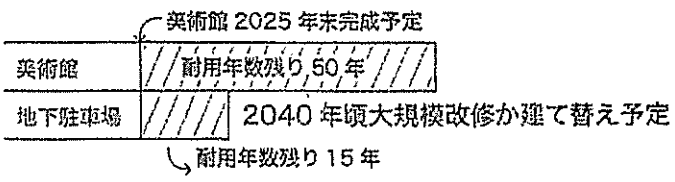
こうなれば、上物である建築物としての美術館の耐用年数が、35年以上も残っているにもかかわらず、基礎構造である地下駐車場が耐用年数を迎えるため、その時点で、美術館は安全面で使用できなくなるか、地下駐車場と共に建て直す事になりかねない事が市議会での**わたし木**岡の追及で明らかになりました。

耐用年数を使いきれない建築物に貴重な税金を投入すべきではありません。

◆リリアの西側から見た「市美術館」建設前後の予想断面図



◆新美術館と地下駐車場の耐用年数比較



[2ページにつづく]

2-3

大問題 2 たった半年で15億円も増えた建設費！すでに57億円に！まるで大阪万博の建設費！

川口市が進める市立美術館計画の建設費用が、うなぎ上りで増えてしまっています。

2023年12月市議会では、美術館建設費用がさらに増えて約57億円にもなる補正予算が、賛成多数で可決されました。

市立美術館の建設費用は、当初20億円とされていました。それが2023年6月市議会において約42億円に膨れ上がり、さらに、たった半年後の12月市議会において、なんと約52億円にもなったのです。しかも建設コストのアップは、これだけでは収まらず、既存の川口駅西口地下公共駐車場の上に美術館を建設する変則的な建築の影響もあり、駐車場の改修工事も連動して実施することになったため、この改修費用に約4億8,000万円もの費用がプラスされました。合わせると約15億円の建設コストアップになってしまったのです。

○市立美術館構想当初・・・20億円程度
○2023年6月時点　・・・42億円
○2023年12月時点・・・57億円

建設コストにかかわる危険性①

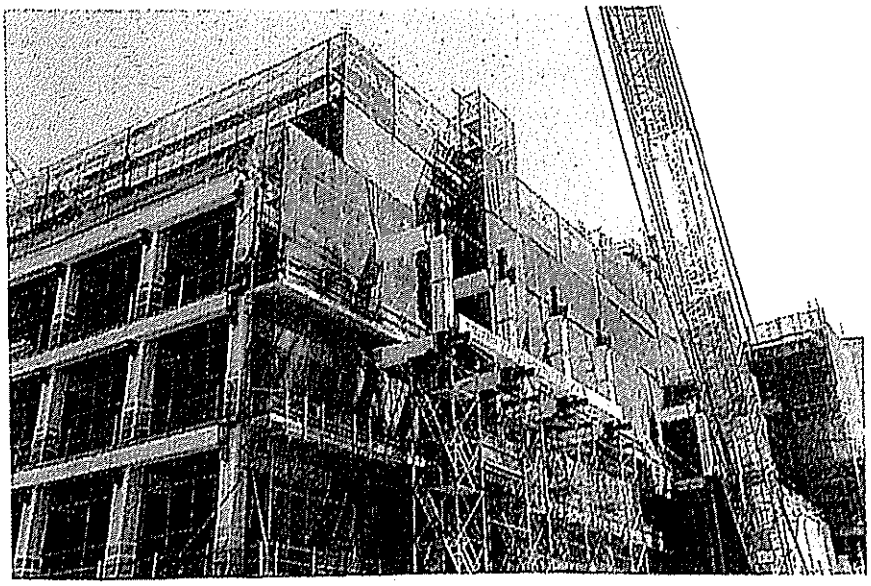
建設コストが今後も上がる危険性がある

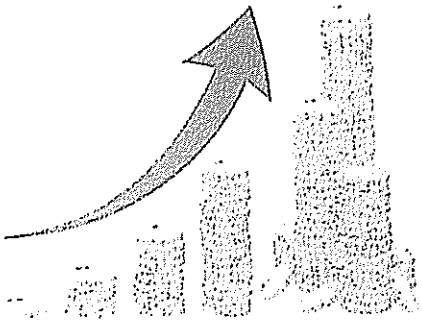
昨今の世界情勢を見れば、いま高騰している建設資材が落ち着くことは考えにくいです。さらに、建設業界の働き方の見直しによって人件費が伸びることは間違いありません。そうなれば、現在の建設費約57億円がもっと増えてしまう危険性は高いと言えます。

建設コストにかかわる危険性②

施工業者の選定が随意契約のため工事費が業者の言い値になってしまう危険性がある

市立美術館の建設事業では、施工事業者が事実上の1社随意契約となっているため、建設費用について今後、事業者の言いなりになってしまう危険が多分にあることも改めて明らかになりました。





写真はイメージです

大問題 3 無計画！ずさんな美術館建設計画の実態が次々と明らかに

2-3

わたし木岡の質問に対して、更に市側は以下のことを明らかにしました。

◆来場者数について「想定していません」

◆入館料金について「検討していません」

◆維持・管理費について
「同規模の公立美術館では、約2億5,000万円ですが、川口市においてはこれから積算します」

◆運営形態について「これから検討します」

◆展示物の購入について「未定です」

試算も想定もないまま、無計画な美術館（箱モノ）建設だけが進んでいます！！

普通、市立美術館の建設を計画するのであれば、どういった施設を作り、どういった運営をして、どのくらいの入場者を見込んで、どのくらいの料金体系（無料も含む）にして、維持・管理などの運営費にどれくらいの税金投入が必要になるのか、などの基本的事項を試算して計画を練るべきです。しかし、12月市議会で次々と明らかになったことは、記のように基本的事項のほとんどについて、試算も想定もせずに無計画なまま、箱モノの建設だけが先行する“ずさんな美術館建設計画”だったのです。

！ 支離滅裂な市側答弁・・・試算はしてないが『独立採算』の方向性！？

前述のように基本的な運営費などについて試算や想定を何もしていない一方で、市側は、『同規模の公立美術館の運営費は約２億 5,000 万円』と答弁し、その上で、市立美術館の運営コストについて『独立採算』との方針を示したのです。

そもそも公立美術館では高額な入館料は取れませんし、取るべきではありません。

ちなみに埼玉県立近代美術館の入場料は無料です。もし年間の運営費２億 5,000 万円を有料入場者のチケット代で賄おうとすれば、どうなるでしょうか。簡単な計算をしてみます。

【前提条件】
①年間運営費2億5,000万円とする
②1ヵ月の開館日数を25日間とする
③1日の開館時間を午前10時～午後6時の8時間とする
④子ども、高齢者、障碍者以外の有料入場料を500円とする

計算すると・・・

写真はイメージです

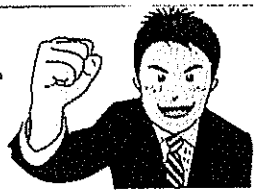
！ 常に1時間当たり200人以上、毎日1660人もの有料入場者が押し寄せる美術館じゃないと成り立たない！

運営費２億 5,000 万円を入場料でまかない『独立採算』を実現するためには、開館日は毎日ずっと開館時から閉館時まで、１時間当たり200人以上の有料来場者がないと実現できません。連日の大盛況・大混雑です。

こうなれば良いですが、まず不可能な数字です。

今のまま市立美術館の建設につき進めば、まず建設において多額の借金をつくり、その上で完成後は維持・管理に毎年赤字を垂れ流す施設になることは間違いありません。

現に市の答弁で、市が調べた限りでは、公立美術館で黒字化できている美術館が全国に１つもないことを認めています。



ちょっと一言

改めて、わたし木岡の美術館建設に関する立場について触れます。

市立美術館は出来れば市内にあった方が良いと考えております。同時に市立美術館は、社会教育施設として無料もしくは非常に低廉な利用料を設定して、誰でも美術・芸術に触れることのできる場とすべきと考えております。

しかし、建設コストがうなぎ上りで、市内の老朽公共施設の更新事業が必要な今、美術館建設は優先すべき事業ではないと考え、市立美術館の建設に反対しています。

美術館建設より優先すべき事業は・・・

①介護保険料・国民健康保険税の引き下げ・軽減策の拡充
②小・中学校の給食費と教材費の無償化、放課後児童クラブの無償化
③老朽化した学校校舎や公民館、スポーツ施設などの更新工事
④地域の生活道路や歩道などの維持・補修の促進
（白線の塗布、誰でも歩きやすい歩道の整備、ガードレールの設置、通学路の安全確保など）
⑤0歳児～２歳児の保育料を引き下げ、第二子以降の保育料無償化
⑥交通不便エリアの解消と買い物難民対策の促進などなど

今なら中止できます！

無計画でずさんな計画のまま、さらなる建設コストアップのリスクを背負ってまで、市立美術館建設に突っ込むべきではありません。さらに新築で建てても耐用年数が切れる前に使用できなくなる可能性が非常に高い建築物に多額の税金をつぎ込むべきではありません。絶対に禍根を残します。少なくともいったん中止して、改めて市民の意見を聞いた上で再考すべきです。

12月市議会で明らかになった川口市政の動きについて

①子ども医療費無償化の助成対象年齢を通院・入院ともに１８歳を迎える年度末までの拡大に向けて、2024 年度当初予算に盛り込む方針。開始時期は 2024 年の秋ごろを予定。
②帯状疱疹ワクチンの接種費用の助成制度の実施に向けて前向きに検討する。
③準要保護世帯を対象とした就学援助の新入学用品費について増額できるよう検討する。
④老朽化した学校給食センターの建設用地確保に目途がついたため、用地購入予算を確保した。
⑤みんななかまバス（コミュニティバス）の利便性向上に向けて、2024 年度から全体のルート見直し案の策定に着手する。
⑥放課後児童クラブにおける長期休暇中の弁当提供の試験運用開始。2024 年の春休みからの本格実施を目指す。

◆税金の使い道
徹底的に監視します！

◆子育てにお金のかからない
街にします！

◆高齢者が安心して生活できる街を
実現します！

木岡たかし [profile]

公式ホームページ
木岡 たかし

[redacted]

2007 年（平成 19 年）川口市議会議員選挙で初当選。2023 年再選。現在 5 期目。

川口市議会「新風会」所属
【所属委員会】●総務常任委員会　●議会運営委員会 ●都市基盤整備・危機管理対策特別委員会 [redacted]

政務活動報告書（個表）

2024年　3月　31日作成

管理番号		3-1
会派(議員)名		川口新風会　木岡たかし
実施年月日		２０２４年　３月　２５日
政務活動の具体的内容	項　目	①調査研究費　②研修費　③広報費　④広聴費 ⑤要請・陳情活動費　⑥会議費　⑦資料作成費　⑧資料購入費 ⑨人件費　⑩事務所費　⑪事務費
	内　容	広範な市民の意見聴取の為に実施する2024年市民アンケートデータ入力業務一式 ※内容を詳細に記載し、報告書がある場合は添付すること
支出の内容	金　額	100,000円
	内　訳	広範な市民の意見聴取の為に実施する2024年市民アンケートデータ入力業務一式 領収書別添 ※添付する領収書等と同一番号を付記し対応関係を明らかにすること
備　考		

※領収書等は領収書等貼付用紙（別様）に貼付し、この報告書に添付すること

2024/3/25

請　求　書

川口市議会議員　木岡 たかし　様

特定非営利活動法人
志民アシストネットワーク
〒332-0021
埼玉県川口市西川口5-2-1-106
TEL:048-250-5587 FAX:048-250-5807 [redacted]

下記の通り請求申し上げます。

件　　名	2024年市民アンケートデータ入力業務一式
請 求 金 額	¥100,000.-

作 業 期 日	2024/01/17～2024/03/16
納 品 場 所	木岡たかし川口市会議員事務所
作業実施方法	現場リーダの指示による
作 業 場 所	川口市選挙管理委員事務所
弊社責任者	[redacted]

2024/3/25

領　収　書

川口市議会議員　木岡 たかし　様

特定非営利活動法人
志民アシストネットワーク
〒332-0021
埼玉県川口市西川口5-2-1-106
TEL:048-250-5587 FAX:048-250-5807

下記の通り領収いたしました。

件　　名	2024年市民アンケートデータ入力業務一式
請 求 金 額	¥100,000.-

作 業 期 日	2024/01/17～2024/03/16
納 品 場 所	木岡たかし川口市会議員事務所
作業実施方法	現場リーダの指示による
作 業 場 所	川口市選挙管理委員事務所
弊社責任者	[redacted]